

# 地域に根ざす 文化と伝統

preservation of culture and tradition

猪苗代町には、いたるところに悠久の歴史と栄華の面影を色濃く残す文化財がたくさんあります。これらを後世に残すため、調査及び保存に力をいれています。



▲天鏡閣(国指定)

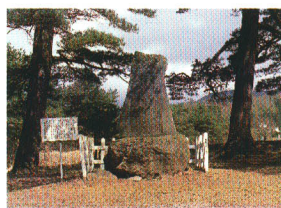
有栖川宮威仁親王が、1907年(明治40年)に美しい猪苗代湖の景観を愛でられ建設された別荘です。

## 県指定文化財

Prefecture designated cultural properties

### ▶猪苗代城跡附鶴峰城跡(県指定)

中世この地を支配した猪苗代氏代々の居城といわれ、戊辰戦争によって建物等は焼失してしまいましたが、土塁や石垣、空堀の一部がこのように残っており、往時を偲ぶことができます。



▲三忠碑(町指定)

1589年(天正17年)伊達氏と芦名氏が戦ったときの、芦名氏の家臣三人の忠誠を後世に伝えるため、第9代会津藩主松平容敬が建てたものです。



▲西久保彼岸獅子舞(町指定)

毎年3月に行われている行事です。1051年(永承6年)から始まったとされています。



▲会津藩主松平家墓所(国指定)

初代藩主保科正之公(徳川二代將軍秀忠の子)が、猪苗代湖が一望できる所にと命じ、建てさせた墓所です。



▲猪苗代湖の白鳥およびその渡来地(国指定)

猪苗代湖の北岸(長浜~志田浜)には、毎年2000羽以上の白鳥が渡来し、10月上旬~翌年4月上旬まで滞留します。

## 町指定文化財

Town designated cultural properties

### ◀大鹿桜(町指定)

会津五桜の一つで、樹齢1100年といわれ高さ14mあります。花色が鹿の毛彩ににていることから、この名がつけられたといわれています。